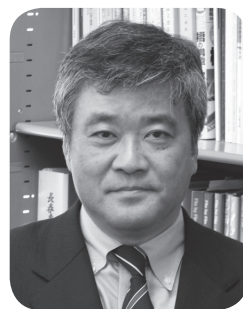


■ PC シンポジウムにみる PC への期待



二 羽 淳一郎*

はじめに

2015年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年がPC工学会の会員皆様にとって、さらに良い一年となりますよう、祈念申し上げます。本年もどうぞPC工学会をよろしくお願い申し上げます。

2014年PCシンポジウム in 盛岡

昨年10月23日、24日の両日、岩手県盛岡市で「第23回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」が開催された。参加者は、論文・報告等の講演者、一般聴講者、技術展示出展団体や後援団体からの参加者、一般市民の参加者の合計で615名となった。これは一昨年の静岡での参加者(513名)を大きく上回るものであった。

さらにシンポジウム実行委員会副委員長の岩手大学・羽原教授のご尽力で、前日の22日には東日本大震災からの復興工事の見学会も実施された。シンポジウムでは、国土交通省東北地方整備局の川崎道路部長の来賓挨拶、その後の基調講演にはスイス連邦工科大学ローザンヌ校のMuttoni教授によるスイスにおける最新のPC構造物の紹介、復興庁の梶原局長による震災からの復興状況についての講演があり、いずれも盛況であった。

23日の夕方に開催された懇親会も盛況であり、500名に達する参加者があった。本年の第24回シンポジウム開催地は富山市であるが、金沢工業大学・宮里教授による歓迎のプレゼンや、米国PCIからのゲストであるTAC(Technical Activity Council)委員長のLarbi博士と西山副会長による中締めなど、非常に盛りだくさんな内容であった。一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会の木下専務理事によれば、PC工学会のシンポジウムは、PC建設業界にとっても、格好の先行指標となっているとのことである。今回は昨年に比べて、参加者は20%増(615/513)、講演者は114名から155名で36%増となっているので、いずれ

にしても大幅な業績増が期待できる数字である。新年の初夢が、正夢となることを強く期待したい。

PC工学会の活動

PC工学会では、PCシンポジウムのほか、6月にはPC技術講習会を全国各地で開催している。本年も6月3日の東京を皮切りに、5日新潟、10日大阪、12日札幌、16日高松、17日広島、24日福岡、25日名古屋と続き、7月3日の仙台まで全国9か所で開催の予定である。技術講習会では統一的なテーマのもとに毎年5題程度の講演を行っているが、2年前からは各会場ごとに開催地の学識経験者の方に特別講演をお願いしている。この企画は好評であるので、本年も継続していきたいと考えている。

PC技士とコンクリート構造診断士の技術者資格は本工学会を代表するものである。PC技士は2013年度末で5600名以上の資格者を数えるものとなっている。コンクリート構造診断士は2014年度末で900名程度であるが、関係者の努力により、着実に資格者の増加が進んでいる。社会インフラのメンテナンスに関しては、国土交通省の民間資格認定が行われることになっているが、本工学会においてもコンクリート構造診断士の資格認定の獲得に向けて、精力的に作業を進めていきたいと考えている。

2015年PCシンポジウム in 富山

さて、本年のPCシンポジウムは10月22日(木)、23日(金)の両日、富山県富山市新総曲輪(しんそうがわ)の富山県民会館で開催される。会場まではJR富山駅から徒歩10分であり、至便である。

おわりに

北陸新幹線も3月14日に開業の予定であり、首都圏からのアクセスは格段に改善される。是非、多くの皆様に参加していただき、PCの発展に向けて、一層の活発な活動を行っていただければ、誠に幸甚である。

* Junichiro NIWA : 東京工業大学大学院 土木工学専攻 教授
本工学会 会長